

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 3708

科目概要記入欄

1. 開設大学	叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部		開催 方法	■対面（本学）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	2. 正式科目名 副題	日本文化論（日本語）		配当年次	2・3
				受入学年	2・3
	学問分野	番号	11	名称	文化・文学
3. 担当教員名	PETKOVA Galia				
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期後半		
6. 開講期間 曜日・時間	2024年6月17日（月）～2024年8月5日（月） 月曜日 13:30～17:00				
7. 基礎知識の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎知識を必要とする科目」（ ） ・「基礎知識を必要としない科目」 				
8. 募集人数	若干名	9. 選考方法	叡啓大学学生の履修者が定員上限に達しない範囲で受入		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>SDGsの実現には、異文化の理解や社会における多様性の確保が欠かせない。日本文化の理解は、外国人留学生にとってはもちろん、日本人学生にとっても、不可欠である。本科目では、日本の文化やアジア・西洋諸国との関係性、各時代の社会を基に形成された文化にふれながら、感性と創造力を育むことを目指す。</p> <p>受講者は、日本の神話、芸能、絵画、仏教美術、工芸、建築などに示された、日本土着の文化と外来文化との交渉、および日本の伝統行事と現代社会におけるその役割について学習する。日本は外来文化をいかに受容し、新たなかたちを生み出したのか？ また、日本文化は世界にどのように受容され、認識されているか？ 対外交渉という視点によって日本文化を理解することで、受講者たちはグローバルな視点を獲得することになるだろう。</p> <p>本科目は、リーディングアサインメントとそれらに基づくディスカッションで構成される。講師がアサインメントとして文献を選んで配布する。指名されたグループが内容を要約して、疑問点を提示する。それらに応じて、グループディスカッションおよび全体でのディスカッションが実施される。講師が必要に応じて論点を解説する。本科目はPBLを実施する。各受講者は、日本文化に関連する研究プロジェクトのテーマを選択し、なるべく比較文化論の観点から、徹底に研究した上で、PBLの課題を作成、提出する。成績評価の40%はこのPBLに基づく（PBL）。注意：グループプロジェクトではなく、個人的なプロジェクトとなる！</p>				
11. 試験・評価方法					
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ		可	○否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ		可	○否	